

超高齢社会の今、制度が大きく変わる！

成年後見制度 26年ぶりの大改革

「一度使ったら一生続く」が変わる

2026年
法改正に向けて
見直しが
進行中！

必要なときだけ、必要な支援を。

成年後見制度とは？

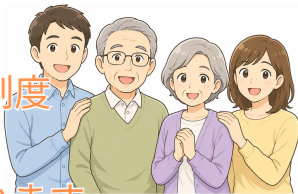
認知症や障害などで判断能力が不十分になった方の財産や生活を法律的に支える制度です。

これまでの制度では…

- ✓ 一度利用すると原則亡くなるまで続く
- ✓ 後見人を外す、変更することが難しい
- ✓ 必要以上に財産管理が制限される

といった課題が…

そこで政府は、成年後見制度の抜本的な見直しを！
2000年の制度開始以来、最大級の改革といわれています。



「保護」から「支援」へ

今回の改正は、単なる制度変更ではありません。これまでの「本人を守るために代わりに決める制度」から「本人の意思を尊重しながら支える制度」へと大きく方向転換します！

こんな方は要注意！

- ✓ 親の認知症が心配
- ✓ 不動産を所有している
- ✓ 相続対策を考えている
- ✓ 家族信託を検討している
- ✓ おひとり様の将来が不安

成年後見制度が変わると

「家族信託」
「任意後見」
「遺言」

との組み合わせ方も大きく変化

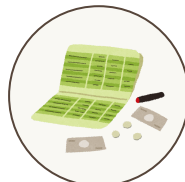
最大のポイントは？

「終身制」の見直し

これまでの制度は、不動産売却のために利用しただけでも、その後ずっと後見人が関与し続けるという仕組みでした。

改正後は「必要な手続きが終われば終了できる」制度へ変わろうとしています。

例えば…



遺産分割
だけ



自宅売却
だけ



施設入居契約
だけ

現行制度と改定後(見直しの方向性)の比較

現行

原則亡くなるまで(終身制)

後見・補佐・補助
3類型に区分

後見人に広範な代理権限

本人の保護を最優先

後見人の交代が難しい

改正後(見直し)

必要な手続きが終われば終了できる

3類型を一本化。柔軟でオーダーメイドな支援

必要な権限だけを付与
限定的に設定

本人の意思・自己決定を尊重し支援する

状況に応じて、後見人の交代がしやすくなる

おひとり様の熱中症対策

「もし倒れても気づいてもらえない」 リスクへの備え

高齢者の熱中症は、自宅で一人のときに発症するケースも少なくありません。発見が遅れることで重症化するリスクが高まります。



予防と
見守りで
命を守る！

気づいてもらうための対策

1

毎日誰かと
連絡を取る
習慣をつくる



家族や友人LINEなどで定時連絡。連絡がなかった時のルールを決めておく。

2

見守りサービス
を活用する



安全確認できな
際に家族や
関係者へ連絡が
入るようにする。

3

エアコンの見守
り・遠隔確認
機能を利用する



室温が高くなった
際に通報。家族が
知ることができて
事故を防げる。

4

地域とつながりを
持つ



・町内会
・サークル活動
・地域支援センター

5

毎日の生活習慣
を決める



・朝カーテンを
開ける
・新聞を取りに
行く

特に危険なサイン

- エアコンを我慢する
- 水分補給を忘れがち
- 1人が時間が長い
- 持病や服薬がある
- 最近外出が減った

⚠️ 一つでもチェックが
付いたら要注意！

大切なのは…

「熱中症にならない対策」
だけでなく
「もしもの時に
気づいてもらえる
仕組み」



お味噌汁でできる熱中症対策

お味噌汁は、失われた水分・塩分・ミネラルを
効率よく補給できる日本の伝統食。

お味噌汁は『天然の点滴』

水分

塩分

カリウム

マグネシウム

ビタミン類

アミノ酸

汗で失われる
成分をしっかり
補給！



塩分控えめで
タンパク質補給に



天然だし



シニアテラスコネクト登録で、
あなたの暮らしが
もっと安心に。

ご登録方法は
QRコードから

